

全国手話通訳問題研究会

山口支部だより



June. 2006 / No. 36

E-mail: yamatuuken@yahoo.co.jp

URL: <http://yamatuuken.cocolog-nifty.com/blog/>

contents

- ◆ 報告 - 支部定期総会 P.2
- ◆ 関係団体役員紹介 P.3
- ◆ 0から学ぶ P.5
- ◆ 字幕放送要望活動 P.6
- ◆ 全国手話検定試験 P.8
- ◆ 書籍紹介 P.9
- ◆ みんなで話そうよ P.10
- ◆ 支部運営委員会報告 P.11

新体制

「足跡を残す活動を」

山口支部の定期総会を終えた今、わずかな窪みであつても、「何か足跡を残す活動をしたい。」と思つていきます。

当面、障害者自立支援法への対応、医療班・地域班活動を志向した取り組み、労働と教育問題の継続研究に、力を入れることとします。

については、10月1日から実施される、手話通訳設置・手話通訳派遣事業等のコミュニケーション支援事業への取り組みがあります。2006年度に手話通訳の有料化を表明した自治体は県内にありませんが、「有料化はさせない」という手話関係者の願いを自治体側に届けることは大切です。7月8日の支部の拡大学習会で、各地の手話通訳派遣事業の現状、自治体への働きかけ等について、情報交換しますので、ぜひご参加ください。

については、聴覚障害者暮らしに続く、具体的な班活動の実現を願つております。全通研討論集会IN山口でのレポート数で分かるように、医療班活動は全国各地でさまざまな取り組みがされています。早速医療班づくりを想定した話し合いを始めます。あわせて、地域班の活動テーマを研究します。

これからの支部活動の広がりをお考えるとき、地域班の取り組みは欠かせないと考えています。地域で取り組めることを会員同士で討議していただきたいと思います。

については、本出版、討論集会開催等、すでに実践研究活動に移っています。

労働と教育は、それぞれの課題が延長線上でつながっており、絶えず両面を議題とした研究討議の必要性を痛感しています。労働問題については、冬の研究討論集会

に継続してレポート提出ができるよう、関係機関との協議を進めてまいります。

また、福祉制度の解説、全国の情報、地域活動の紹介、会員の皆様の意見・声等を掲載するこの支部だよりも、山口支部活動の中核事業です。多彩で充実した紙面づくりに向けて積極的な投稿をよろしく願います。

(支部長 藤井 豊)

水無月の語源

水無月は、水の無い月と書くが、水が無いわけではない。

水無月の「無」は、「の」にあたる連体助詞「な」で、「水の月」という意味になる。

陰暦6月は、田に水を引く月であることから、水無月と言われるようになった。